

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		食品開発科学科		
科目名称	フレッシュマンアワー					授業形態	講義		
科目コード	160003	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブラーニング	
担当教員名	紺谷 靖英、山崎 楓							ICT活用	○
授業概要	<p>大学に入学したばかりの新入生は、高校との違いにとまどうことが多い。大学入学を期に一人暮らしをはじめめる者が多く上、授業の履修の仕方一つをとってもすべて自分自身で考えなくてはならない。このように一面で自由であることがかえって負担となっている新入生に対し、大学内外から講師を招き、大学生活やその後の職業生活への展望をもたせ、快適な生活をおくれるように支援を行う。</p>								
関連する科目									
授業の進め方と方法	講義を中心に、簡単な問題や感想文で理解を確認する。分からないことに関しては講師へ質問する。								
授業計画【第1回】	<p>カリキュラムの説明と履修登録演習 配付資料と学生便覧により説明（GAP制、GPAについても説明）、ツリーの説明（4年間のカリキュラム）、コロナ対応の説明 ※食品開発科学科新入生オリエンテーション時に実施</p>								
授業計画【第2回】	<p>実験の安全指導 レポートの作成方法、論文の読み方 AI時代の実験研究 保護メガネ、ドラフト、MSDS(安全データシート)などについて 実験ノート・レポートの作成方法、論文の読み方などについて 数理データサイエンスリテラシーレベルの概要を説明する ※食品開発科学科新入生オリエンテーション時に実施</p>								
授業計画【第3回】	<p>職業生活に向けて 中高卒免許課程について 講師:教養教育センター 植村秀人 准教授</p>								
授業計画【第4回】	<p>南九州大学入門 南九州大学について理解を深めよう 1 大学概要・建学精神・教育理念・ポリシー等 講師:学長 全学オンライン授業 ※学部共通</p>								
授業計画【第5回】	<p>南九州大学入門 南九州大学について理解を深めよう 2 ・各学部学科紹介 ・短期大学部紹介 オンデマンド教材の視聴及びレポート提出による受講 ※学部共通</p>								
授業計画【第6回】	<p>メンタルヘルス ころとからだ メンタルヘルスの基礎知識を学ぶ 講師:本学 カウンセラー ※学部共通</p>								
授業計画【第7回】	<p>リテラシーの基礎を身に付けよう 1 メディアリテラシー サイバー犯罪、情報モラルについて 講師:宮崎県警察本部サイバー犯罪対策課 ※学部共通</p>								
授業計画【第8回】	<p>リテラシーの基礎を身に付けよう 2 情報リテラシー 図書館の利用・情報検索の方法を学ぶ 講師:本学図書館職員 ※学部共通</p>								
授業計画【第9回】	<p>多様な人々とともに生きる共生社会 1 セクシャルマイノリティ 自分とは違う誰かを思いやり、理解して行動するために 講師:足立佳代氏(宮崎県男女共同参画地域推進員) ※学部共通</p>								

授業計画 【第10回】	多様な人々とともに生きる共生社会 2 障がいについて理解を深める 講師：子ども教育学科 川田教授 ※学部共通
授業計画 【第11回】	ジェネリックスキルを身につける。 4月に受けたPROGテストの解説を通して、 現段階での自分のジェネリックスキルについて知り、今後どのようにしてそれを伸ばしていくかを学ぶ。
授業計画 【第12回】	リテラシーの基礎を身に付けよう3 大学生として必要なライティングリテラシーについて
授業計画 【第13回】	上級生の話、健康管理 学生生活について、健康診断の見方
授業計画 【第14回】	食事体験実習
授業計画 【第15回】	食品加工体験
授業の到達目標	① 南九州大学の歴史、教育理念、教育目的を理解する ② 高校と大学の違いを理解し、自律的な学習習慣・マナー・自己管理能力を身に付けること ③ 大学生やその後の職業生活について展望を持つこと
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	予習復習1時間程度。
授業時間外学習【復習】	授業の内容を十分に理解するために必ず復習をしておくこと。また、理解が不十分であった部分は担当教員にたずねること。
課題に対する フィードバック	レポートは評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説をします。
評価方法・基準	授業への参加の熱心さとレポートの内容
テキスト	なし
参考書	随時、プリントを配布
備考	